

□議員名：吉永美子

1 環境問題について

論点	3Rの中で、リデュース（ごみ発生抑制）の取組みについて、環境に取り組む市民団体を活用すべきではないか。
回答	市と団体が協働して環境保全、またごみの減量化を図っていくべきではないかということだが、指摘のとおりだと思う。いろんなイベント等で声かけをし、情報を共有する中で、できるだけ裾野が広がるように今後とも努めていきたい。

論点	ライトダウンキャンペーンの取組み状況、キャンペーン期間の延長と頑張っている企業や団体、市民の公表について考えを聞く。
回答	県実施のCO ₂ 削減キャンペーンに協働し、緑のカーテン、ライトダウン、ノーマイカーの取組みについて事業者や市民に参加を呼びかけている。昨年度のライトダウンキャンペーンには、市内の企業等18団体が参加した。期間延長と公表は検討を進めていきたい。

論点	昨年、熱中症対策としてミストシャワーを提案し、高泊小学校と出合小学校に設置されたが、効果と今後の予定を聞く。
回答	子どもたちが屋外で活動した後、ほてる体に霧状のミストシャワーを浴びて大変喜んでいたと聞いている。今年度は、残る小学校に早い時期に設置したい。幼稚園の設置予定はない。保育園は来年度に向けて検討する。体育館や運動場などは今後検討する。

2 市民活動支援について

論点	市民活動ガイドブックの更新と市HPへの掲載、情報発信や共有、そして市民活動基本方針の改訂版作成を行うべきではないか。
回答	指摘の市民活動推進検討委員会を再度立ち上げる。市民活動ガイドブックについては改訂をせず、啓発活動も怠っていたことをすごく反省している。早急に見直し、公表する。市民活動基本方針は新規に策定したい。

論点	市民活動支援センター設置がずいぶん前に課題として出てきていたにもかかわらず、全く前進していない。設置予定を聞く。
回答	市民活動支援センターの場所を探そうということではしばらく取り組んだが、適当な場所はないということから事実上中断してそのまま放置されてしまった。その取組みは、まだ現在進行中であるというのが私（市長）の認識である。

3 高齢者移動支援について

論点	公共交通機関は高齢者にとって、とても重要な移動手段である。利用料を助成することにより、社会参加を促すべきではないか。
回答	今後とも高齢化が進展する中で、運転をやめる高齢者が増えることが予想され、移動手段となる公共交通の重要性は高まるものと考えている。バス利用の助成など高齢者向けの移動支援について、関係課と協議研究していきたい。

4 コンビニエンスストア活用について

論点	証明書発行をコンビニに委託する自治体が増えてきている。市民サービス向上のため、コンビニでの証明書発行の予定はないか聞く。
回答	コンビニ交付の実施により、市民サービスの向上が期待されるところであるが、多額の費用を要するので、その効果を精査するとともに、県内市町の動向も参考にしながら導入について研究していきたいと考える。

論点	夜遅くにAED（自動体外式除細動器）を必要とした際に利用できるよう、コンビニ店内へのAED設置協力を依頼できないか。
回答	24時間営業のコンビニエンスストアにAEDを設置すれば、救命率も格段に上がるかと思われる。ただ、受け入れ先の問題や経費の問題、さらには維持管理問題等解決すべき問題が多々ある。今後、迅速な救命処置が可能となる環境を整備していけるよう検討する。

論点	兵庫県尼崎市の取組みを参考に、健診の受診率を上げるためのコンビニ健診を考えるべきではないか。
回答	受診率を向上させるには、新規の受診者や働き盛りの年代へのアプローチが必要である。そのため、まずは健診の情報を伝える窓口としてのコンビニの活用について検討していきたいと考える。